

# 川崎縦貫道路等の早期整備について



(左より)小島副会長・西岡会頭(会長)・城島衆議院議員・寺尾副会長・和田副会長

平成21年12月18日

国土交通大臣  
前原 誠司 殿

川崎商工会議所 会頭 西岡 浩史  
川崎市の幹線道路の整備を促進する会  
会長 西岡 浩史

## 川崎縦貫道路等の早期整備について(要望)

川崎市は東京と横浜の中心に位置し、首都圏核拠点都市として都市機能の強化、連携を図るうえで重要な役割を担っているところです。

殊に、川崎臨海部は首都圏の交通の要として、東京湾アクアライン、東京湾岸道路、川崎縦貫道路等との交通結節点を形成しております。

然しながら、羽田国際空港ハブ化構想及び京浜三港連携などの効果を波及させるための幹線道路ネットワークは脆弱であると申し上げざるを得ません。

そこで、首都圏の国際物流力強化とCO225%削減実現のために、川崎市の臨海部から内陸部へと効率的な核拠点都市ネットワークを形成する次の3点の幹線道路整備事業にご高配を賜りたくお願い申し上げます。

1. 「東京外かく環状道路東名以南と川崎縦貫道路の一本化」早期整備。
2. 川崎都心部の渋滞解消を図る「一般国道409号(国道15号～国道1号)のバイパス化」先行整備。
3. 基幹的広域防災拠点の強化を図る「一般国道357号(羽田国際空港～浮島～東扇島)」の早期整備。

以 上